

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号  
**実用新案登録第3142946号**  
**(U3142946)**

(45) 発行日 平成20年7月3日(2008.7.3)

(24) 登録日 平成20年6月11日(2008.6.11)

(51) Int.Cl. F 1  
**A 4 7 G 33/02 (2006.01)** A 4 7 G 33/02 D

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2008-2509 (U2008-2509)  
 (22) 出願日 平成20年4月18日(2008.4.18)

(73) 実用新案権者 394025887  
 株式会社青銅社  
 富山県高岡市赤祖父94番地の1  
 (74) 代理人 100083127  
 弁理士 恒田 勇  
 (72) 考案者 稲見 晃  
 富山県高岡市赤祖父94番地の1 株式会  
 社青銅社内

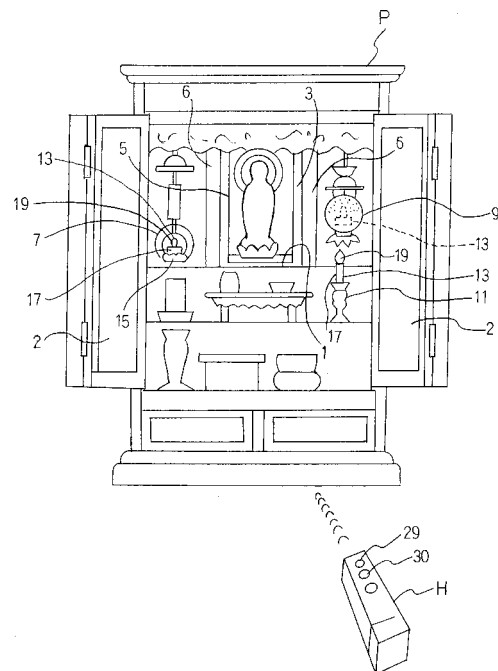
(54) 【考案の名称】 リモコン式灯明仏壇

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 色彩の特異性により華やかな装飾が可能となり、点灯が利かなくなるような不都合がなくなり、消費電力が極めて少ないために電池の有効利用が可能であり、遠くからもリモコン操作で灯明を点滅できるリモコン式灯明仏壇を提供する。

【解決手段】 灯を発する仏具で装飾された仏壇において、灯を点滅する片手持ち型のリモコン操作盤を備えてなり、灯源が発光ダイオードであって、仏具にその発光ダイオードの他に、発光ダイオードを発光させるに要する電気を供給する電池と、その電気の供給をリモコン操作盤からの発信情報によりオン/オフに切り換える受信器とを具備してなることを特徴とする。

【選択図】 図1



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

灯を発する仏具で装飾された仏壇において、灯を点滅する片手持ち型のリモコン操作盤を備えてなり、灯源が発光ダイオードであって、仏具にその発光ダイオードの他に、発光ダイオードを発光させるに要する電気を供給する電池と、その電気の供給をリモコン操作盤からの発信情報によりオン/オフに切り換える受信器とを具備してなることを特徴とするリモコン式灯明仏壇。

**【請求項 2】**

仏具に灯明器が着脱可能に取り付けられ、その灯明器は、取付台としてのケースに発光ダイオードが内装される灯明ないし半灯明の中空体を立設し、ケースに前記電池および受信器が内装されていることを特徴とする請求項 1 記載のリモコン式灯明仏壇。

10

20

30

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

この考案は、リモートコントロール（本明細書ではリモコンと略称する）により仏具の照明を点滅（点灯と消灯）をなし得るようにしたリモコン式灯明仏壇に関する。

**【背景技術】****【0002】**

仏壇は、広義には仏を祀る壇全般を指し、寺院の仏堂において仏像を安置する壇も含まれるが、一般家庭において仏を祀る逗子であるとともに、家族の死者や先祖を祭る祭壇として安置されるものを指すことが多い。内部は仏教各宗派の本山寺院の仏堂を模した豪華な作りになっており、輪灯や吊灯籠等の灯明で華やかに飾られた内部に、仏像が置かれたり、本尊の軸が掛けられたり、位牌が納められたりされる。

40

**【0003】**

従来、灯明には蝋燭が使用されてきたが、着火が面倒であるばかりか、煤ける原因となり火災の危険が伴う等の理由から、最近では蝋燭の灯火に似せた白熱灯の豆電球が使用され、マッチで点火することなくスイッチにより豆電球を点滅して簡便に使用できるようになっている。

**【考案の開示】****【考案が解決しようとする課題】**

50

## 【 0 0 0 4 】

従来の仏壇によれば、上記のように灯明に白熱電球を使用していたが、それは外側の形を先細の灯火に似せたもので、点灯するとやゝ橙色に発色するので、蠟燭の灯火として擬せられ、また、輪灯や吊灯籠等の中に納まっていると、蠟燭の灯火が中に入っていると擬せられる。しかしながら、灯火の発色が単調であるため、仏壇の中を華やかに装飾するには限界があり、また、電球が切れると取り替えが面倒であり、特に老人等の身体不自由者であるとそれが難しかった。また、豆電球の電源に家庭の電気を配線により取り入れていたので、配線が煩雑に見え、また、点灯の際にはスイッチの箇所付近に近づく動作が必要のため、殊に身動きが不自由であると不都合が感じられた。

## 【 0 0 0 5 】

この考案は、上記のような実情に鑑みて、色彩の特異性により華やかな装飾が可能となり、点灯が利かなくなるような不都合がなくなり、消費電力が極めて少ないために電池の有効利用が可能であり、遠くからリモコン操作で灯明を点滅できるリモコン式灯明仏壇を提供することを課題とした。

## 【 0 0 0 6 】

上記の課題を解決するために、この考案は、灯を発する仏具で装飾された仏壇において、灯を点滅する片手持ち型のリモコン操作盤を備えてなり、灯源が発光ダイオードであって、仏具にその発光ダイオードの他に、発光ダイオードを発光させるに要する電気を供給する電池と、その電気の供給をリモコン操作盤からの発信情報によりオン/オフに切り換える受信器とを具備してなることを特徴とするリモコン式灯明仏壇を提供するものである。

## 【 考案の効果 】

## 【 0 0 0 7 】

この考案のリモコン式灯明仏壇によれば、発光ダイオードが発光する色彩の多様性と特異性により華やかで魅力的な仏具による装飾が可能となり、発光ダイオードの寿命が半永久的に長いために、点灯が利かなくなるような不都合がなくなり、その消費電力が極小さいので電池の有効利用が可能であって、内部を見苦しく配線する必要もなくなり、また、礼拝位置に居ながらでもリモコン操作で都合良く灯を点滅でき、殊に身動きが不自由な者にとっては非常に具合が良い等の優れた効果がある。

## 【 考案を実施するための最良の形態 】

## 【 0 0 0 8 】

次に、この考案の実施形態を図面に基づいて説明する。

## 【 0 0 0 9 】

図1はリモコン式灯明仏壇Pをそれに付属する片手持ち型のリモコン操作盤Hと共に示したもので、内部の様子ができるように左右扉2, 2が開かれた図示とした。その内部は基本的には3段となっており、上段としての須弥壇(しゅみだん)1の上の宮殿(くうでん)3に本尊を表した軸5が掛けられ、リモコン操作盤Hとの関係では、宮殿3とは柱6, 6で隔てた両側にそれぞれ仏具としての輪灯7と吊灯籠9とが吊り下げられ、中段にろうそく立11が置かれている。なお、軸5の代わりに本尊の像が置かれるというように、内部の様子、つくり、飾り等は図示のものとは違い様々となり得ることはいうまでもない。

## 【 0 0 1 0 】

輪灯7と吊灯籠9には、図2に示すような灯明器13が着脱可能に具備され、輪灯7では輪の中に下端の座15の上に取り付けて設置され、また、吊灯籠9では半透明な円形の灯籠の中に同じような灯明器13が内装される。

## 【 0 0 1 1 】

灯明器13は、取付台としてのケース17の上に透明または半透明の中空体19を立設し、中空体19はろうそくの灯の形状であって、その中に発光ダイオード(LED)21が内装される。また、ケース17の中には電池23の他に、それを発光ダイオード21に対してオン/オフ(ON/OFF)する受信器25が内装され、その受光部27が前面に露出される。なお、発光ダイオード21には、赤色(1.5V程度)、桃色、黄色、緑色

10

20

30

40

50

(いずれも 2.5V 程度) のように様々な発光色のものが使用される。

【0012】

ろうそく立 11 は前記のものとは形が異なるが灯明器 13 付きであって、ろうそく立 11 の上にはろうそくに似せた筒形のケース 17 とその灯に似せた中空体 19 とが順次立設されている。なお、この場合も、図示は省略するが、中空体 19 に前記(図 2) の如く発光ダイオード 21 を内装し、ケース 17 には電池 23 と受信器 25 とが内装され、ケース 17 の前面に受光部 27 が露出される。

【0013】

リモコン操作盤 H は、手の平に納まる程度の大きさであって、幾つかのボタンがあって、ボタン操作で赤外線等を受光部 27 に発射し、灯明器 13 を点滅するようにしたものである。この場合、灯明器 13 を個別に点滅するようにできるし、全部を一挙に点滅することもできるように、選択ボタン形式にすることが望ましい。例えば、符号 29 のボタンで、輪灯 7、吊灯籠 9、ろうそく立 11 を次々と個別に点滅でき、30 のボタンでは全部を一挙に点滅できるようにするという具合である。

10

【0014】

図 3 は置灯籠 12 として実施した場合であるが、仏具に取り付ける灯明器 13 としても使用できるもので、台としてのケース 17 は蓮の花の形状 31 で装飾し、その上に円形で薄い桃色の半透明な中空体 19 を立設し、その中において中心に赤の発光ダイオード 21 を、その回りに複数の青と橙の発光ダイオード 21, 21, … が交互に配列される。そのため非常に荘厳で魅惑的な発色となる。

20

【図面の簡単な説明】

【0015】

【図 1】この考案のリモコン式灯明仏壇を示す正面から見た斜視図である。

【図 2】同仏壇の仏具に装着される灯明器を一部切欠して示す正面図である。

【図 3】他の実施形態による灯明器を一部切欠して示す正面図である。

【符号の説明】

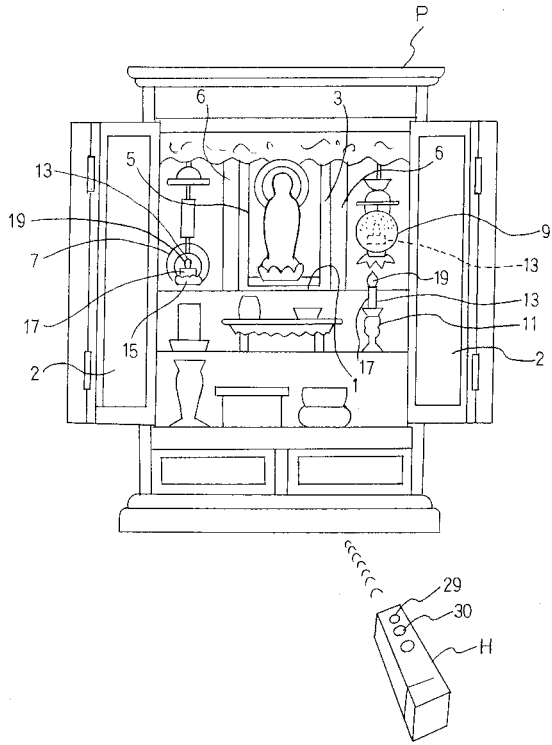
【0016】

- P リモコン式灯明仏壇
- H リモコン操作盤
- 7 仏具としての輪灯
- 9 仏具としての吊灯籠
- 11 仏具としてのろうそく立
- 12 仏具としての置灯籠
- 13 灯明器
- 17 ケース
- 19 中空体
- 21 発光ダイオード
- 23 電池
- 25 受信器

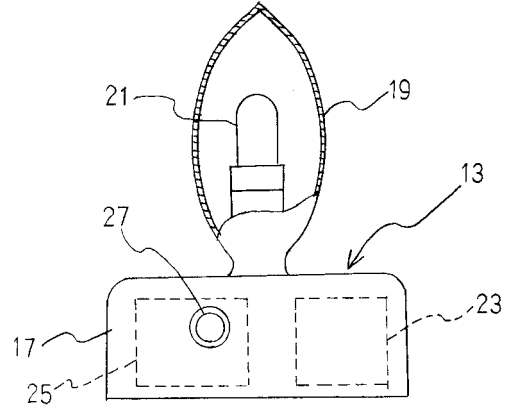
30

40

【 図 1 】



【 図 2 】



【 図 3 】

